

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

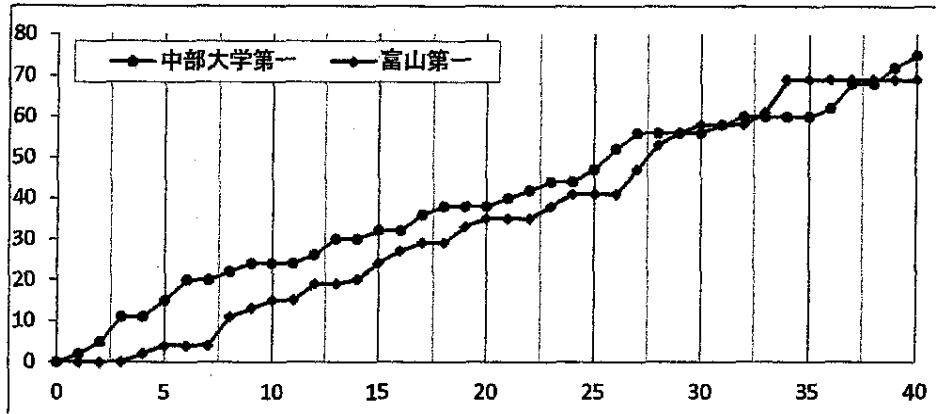
男子 1回戦
主審 渡邊 亮
副審 三瓶 吉人

中部大学第一 75
(愛知) ○

69 富山第一
● (富山)

24	-	15
14	-	20
18	-	23
19	-	11
-	-	-

No. 29a3 日時: 2013年7月29日(月) 12:50 会場: ベっぷアリーナ



中部大学第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	野中 達矢 (C)	-	-	-	-	-
5	栗原 堅	0	0	0	0	0
6	* 飯島 匡洋	15	3	3	0	4
7	高橋 一希	6	0	3	0	2
8	* 光美	21	0	10	1	4
9	広沢 龍星	-	-	-	-	-
10	* 福岡 博貴	12	0	4	4	2
11	ピリシベ 実会	13	0	6	1	1
12	坂本 秀斗	-	-	-	-	-
13	* 遠藤 和希	3	0	1	1	1
14	* 中村 浩陸	5	0	2	1	3
15	歌	0	0	0	0	1
コーチ 常田 健						
合計		75	3	29	8	18

富山第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	藤井 直哉	13	4	0	1	3
5	廣谷 侑士	-	-	-	-	-
6	* 志摩 恭介	0	0	0	0	1
7	田中 勇希	-	-	-	-	-
8	山本 宗宏	-	-	-	-	-
9	溝口 時央	-	-	-	-	-
10	北川 楓之	6	0	3	0	2
11	* 水野 阿礼	4	0	2	0	1
12	吉田 雅志	-	-	-	-	-
13	* 安達 至 (C)	11	1	3	2	2
14	* 塚田 真矢	9	3	0	0	3
15	* 馬場 雄大	28	0	10	6	5
コーチ 馬場 敏春						
合計		69	8	28	9	11

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド、両チームハーフコートマンツーマンからスタート。立ち上がり中部大学第一は#10、#8のゴール下、#6のスリーポイントで得点を重ねていく。一方、富山第一はドライブからのジャンプシュートで応戦するが厳しいプレッシャーからなかなかシュートが決まらない。残り6分11-0で富山第一はたまたまタイムアウト。再開後、富山第一はディフェンスのプレッシャーを強めるが、中部大学第一は#8のゴール下で加点していく。一方、富山第一は#15のドライブを中心に得点し、24-15で第1ピリオドが終了。第2ピリオド、両者ハーフマンツーマンからスタート。どちらのチームも早い展開から主導権を握ろうとする。一進一退の攻防が続く中、残り4分、富山第一は#14の3ポイントをきっかけに流れをつかんでいく。中部大学第一も#8のゴール下で突き放そうとするが、富山第一は#10のジャンプシュートや#15のダンクシュートで徐々に点差を詰めていき、38-35で2ピリオドが終了。

第3ピリオド、富山第一はハーフマンツーマン、中部大学第一は2-3ゾーンからスタート。中部大学第一#6、#10の連続得点で後半が始まる。富山第一は#4のアウトサイドシュートを中心に攻めていく。中部大学第一は#11のリバウンド、#14のドライブから得点していく。終盤、富山第一は#13、#14、#4の3連続3ポイントを決め、56-58富山第一2点リードで終了。第4ピリオド、中部大学第一はマンツーマンに戻す。富山第一は#4のアウトサイド、#15、#13のドライブで得点し、徐々に突き放しにかかる。残り6分、富山第一5点リードで中部大学第一がタイムアウトを取る。その後、互いに一歩も引かない展開が続く。残り3分30秒、中部大学第一は1-2-2のハーフコートのゾーンプレスで勝負に出る。#11のレイアップ、#8のゴール下で1点差に詰め寄り富山第一は2回目のタイムアウト。タイムアウト後も流れは変わらず、#8、#11の連続得点で中部大学第一が逆転勝利をおさめた。

記載者 野呂 雄一 (所属) 大分県バスケットボール協会